

5. 標準問題の解析プログラムと解析結果

5.1 はじめに

総合的な評価を目的として、具体的な建物を対象に詳細な条件設定を行った標準問題も考えられるが、ここではできるだけ単純な条件下で、各物性値の差異を検討することに主眼を置いた問題設定とした。すなわち、図 1 に示すように、厚さ 10mm の材料（底面側が温度指定・断湿、上面側が室空気と接している。）について、厚さ方向の一次元熱水分同時移動の計算を行う。この材料を、ある一定の室温湿度条件に平衡させた後、室空気の湿度条件をステップ変化させた場合の応答を見ることで、入力した物性値の性質を検討することを目的としたものである。

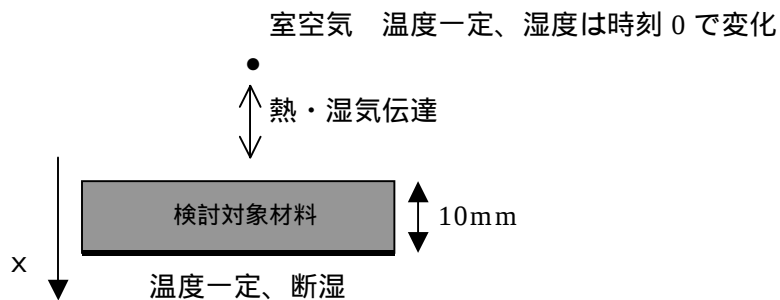


図 1 標準問題の計算条件概要